



○ 引用「土台」

例によって新聞記事から引用させていただきました。6月8日付け朝日新聞の天声人語です。

天声人語

虎に翼、ブギウギ、鎌倉殿の13人……。NHK連続テレビ小説や大河ドラマの陰には、たいていこの人の存在がある。NHKシニアディレクターの大森洋平さん(65)。巨大な組織でただ一人、25年にわたって時代考証を専門に担ってきた▼完成前の台本に目を通し、おかしい部分を洗い出す。たとえば江戸時代。長屋の住人が、ご隠居の粹なふるまいにパチパチと拍手を送る——なんて場面には、待ったをかけなくてはいい。日本人が称賛の意味で拍手をするようになったのは明治になってからだそうだ▼逆に、殿さまが「片頭痛がひどい」と嘆いても大丈夫だ。いかにも現代風の病だが、1603年に刊行された日葡辞書にも「ヘンツツウ」の項目がある▼考証には時代ごとの専門家も加わるが、大森さんの仕事は、こぼれ落ちた森羅万象の謎に答えを示すこと。何でも見ておこうと、旅先では遠回りでも古い街道を歩く。古本屋めぐりが過ぎて「店先だけで品揃えが分かるようになった」▼集めたうんちくは、著書『考証要集』として出版され、いまでは制作現場の必需品になっているという。退職を目前に、放送文化基金賞の受賞が決まった▼創作が「主人」で、時代考証は「しもべ」というのが持論だ。出しゃばってはいけない。しかし、時代考証という土台があるゆえに物語はリアルになる。そもそも土台や型を知らなければ、型破りなことなど出来はしない——。ものを創る全ての人へ。大森さんからのメッセージだ。

2024・6・8

調理・製菓と時代考証は直接関係がありませんが、最後の「ものを創る全ての人へ。」「そもそもの土台や型を知らなければ、型破りなことなど出来はしない。」ということばはそのままあてはまりますね。入学後二ヶ月余りが過ぎていきましたが、学生たちは今も基礎基本の練習中で型を身につけようと奮闘しています。今まで何回も伝えてきましたが、不器用な人ほど苦労して身につけた技術や知識は今後の型破りや進歩に役立つであろうと思います。今、まわりの人から後れを取っていると感じている人、焦りを感じているかも知れませんがめげずに練習し続けよう。一度身につければ将来強い力になります。

○ 自校自賛

樋口先生の指導の下、総合調理でお昼ご飯をつくりました。鶏の唐揚げがメインです。サクサクとした感触で美味しくいただきました。シンプルなものも案外侮れないのではないのでしょうか。そんなことも学びました。



植物：ナンテン（南天）、アジサイ（紫陽花）

赤い実は想像できますが、ナンテンの花はどんな形や色だったのでしょうか？ 小さくてかわいく咲いています。アジサイにも色々な種類があります。梅雨の季節に似合う花ですが、今年の梅雨は少し遅いようです。被害がでない程度の雨はそろそろほしいところですね。

